

第5レース《蔵出し! 緑吹バラエティ》

佐藤の



当レースの本命

このレースの大本命は大工のきつつきさんじゃないでしょうか。音楽に合わせて体を動かすこの曲は、子供たちに人気の企画ですが、大人の脳トレとしても効果的ではないかと睨んでおり、近く研究チームを立ち上げる予定で

大穴・番狂わせ

大工のきつつきさんにとって最大の脅威はゴミ健サンバですね。学びと笑いと運動がバランス良く配合されていて、音楽界のスーパードードといったところでしょうか。

当レースの面白さ

会場参加型の曲が多く含まれるのはこのレースだけです。その辺がポイントになってくるでしょう。曲の知名度だけでは決まらないところが、このレースを面白く、また難しくする一因となりそうですね。このレースこそ、本紙を熟読してパフォーマンス込みで選ばれるのがよろしいでしょう。会場のみならず、皆さんのセンスに期待します。



42	41	40	39	38	37	36	35	曲名	作曲者	編曲者	予想師	難易度	演奏頻度	特徴	曲紹介	
フューチャー・オブ・ドリームズ	緑吹のテーマ'04	大工のきつつきさん	世界中の子どもたちが	ゴミ健サンバ	この動物なあに?	音楽クイズ	アフリカン・シンフォニー		新倉知	新倉知	ダニエル	4		4拍子。J=80。C-Dur。各パートの見せ場あり。フリーゲル・ホルンにソロあり。	テーマ04と対をなす、新倉知作曲による緑吹オリジナルのバラード曲。演奏会のラストナンバーとして、あるいはアンコール曲として演奏されてきた。この美しいメロディーに心を揺さぶられ、入団を決意した団員がいてほしい。なんとこの曲は、後に編曲がなされ、軽快な「サンババージョン」も存在する。	
新倉知	新倉知	オーストリア民謡	中川ひろたか	宮川彬良	村中弘美	???	ヴァン・マッコイ	作曲者	新倉知	新倉知	さきつちよ	多		4拍子。J=127。B-Dur。ダル・セーニョあり。トリッキーなリズム。	緑吹のポップスステージのオープニング曲として、幾度となく演奏されてきたこの曲は、題名の通り我々緑吹のテーマソング。作曲は、かつて当団の指揮者を務めていた新倉知、通称「釣り待」。緑吹以外の団体は演奏したことのない、勿論、緑吹以外の演奏会では耳にすることのできない明るいポップスを、是非。	
新倉知	新倉知	今井雅之	みうらひであき	山下国俊	今井雅之	新倉知	岩井直溥	編曲者	新倉知	新倉知	なかじ	多		3拍子。J=92~。G-Dur。最後は超特急。	素朴なメロディーに乗せて体を動かす、いわゆる「遊び歌」。演奏の合間に、森の中での出来事が語られる。ストーリーの展開とともに、体の動きも増えていく。子供から大人まで誰もが参加できる、体験型音楽を楽しんでほしい。	
○	○	◎	△	○	△	△	◎	予想師	新倉知	新倉知	かいかい	中		4拍子。J=132。G-Dur。ダル・セーニョあり。	日本中の幼稚園・保育園や小学校で親しまれているこのナンバー。この曲では、お兄さん・お姉さんのお手本をよく見て、歌詞を表す手話に挑戦してほしい。	
△	△	○		◎		◎			新倉知	新倉知	まいまい	中		4拍子。J=126。B-dur。サンバに合わせてゴミを分別。ゴミは正しく捨てよう!	皆さんご存知の「マツケンサンバII」は、マツケンこと松平健が歌い2004年に大ヒット。このマツケンサンバIIに乗せて環境保護にも抜かりのない緑吹がお届けするのは、ゴミの分別の方法が分かるリズムゲーム。会場の皆で参加し、大きな声で盛り上げてほしい。主役はお客様自身であり、ステージ上に現れるゴミダイラ健、通称「ゴミ健」やダンサーたちは、あくまでオマケである。	
4	3.5	1	3	2	1	1	3	難易度	新倉知	新倉知		多		2拍子。J=120。G-dur。ホルンの後打ちよ永遠なれ。	緑吹には、会場の皆さんと団員をつなぐ第2の司会者がいる。それが「お兄さんとお姉さん」だ。両氏が、アップル・ジャム作曲による軽快なメロディーの後に、動物に関する3つのヒントを提示。3つ目のヒントは、何と管楽器による動物の鳴き真似! 耳・頭・心をフル動員して考えてほしい。	
多	多	多	中	中	多	少	多	演奏頻度	新倉知	新倉知		少		4拍子。J=125。As-Dur。3曲同時演奏。	一度は聞いたことのある、あのメロディーを、3曲同時に演奏。あなたの耳は、いくつ聞き分けられるだろうか。答えが分かたら、挙手して回答してみてほしい。聞き取りの名人、平成の聖徳太子の挑戦を待つ。	
								特徴	新倉知	新倉知				4拍子。J=90。F-dur。猛々しいホルンの雄叫び。	高校野球の応援歌としても使われるこの曲は、1974年、ヴァン・マッコイによって作曲されたダンスナンバーを、岩井尚博が編曲したもの。吹奏楽の経験者ならば一度は演奏したことがあるのでは。そんな「吹奏楽の定番」とも言えるこの曲も、緑吹が演奏すると・・・!?	
								曲紹介	新倉知	新倉知					by	
								by	新倉知	新倉知					こーじー	
									新倉知	新倉知						